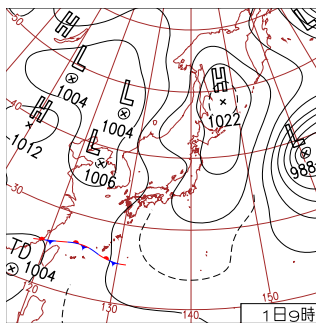


2011年 6月

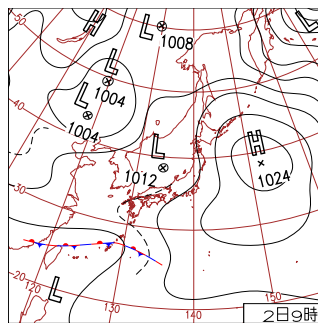
- ・ 9日、沖縄は統計開始後、最も早い梅雨明け発表。南シナ海では台風第3号が発生。
- ・ 九州では、中旬の降水量が1000mm前後に達する大雨となった所も。
- ・ 24日、埼玉県熊谷で6月としての国内最高気温となる39.8℃を記録。

(気象庁予報部予報課)



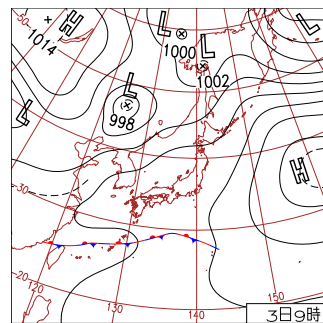
1日(水) 肌寒い衣替え

オホーツク海にある高気圧の影響で北海道～関東の太平洋岸で冷え込む(13か所で6月の最低気温1位を更新)。南西諸島は前線、中国～関東は気圧の谷の影響で雨、北海道は晴れ。



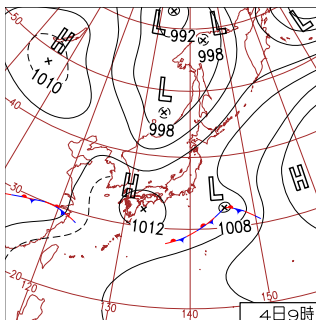
2日(木) 新潟県で震度5強

晴れたのは西日本と北日本の一部でその他は曇りや雨。東日本と東北南部では引き続き最高気温は4月並の肌寒さ。新潟県中越地方を震源とする地震があり、十日町市で震度5強。



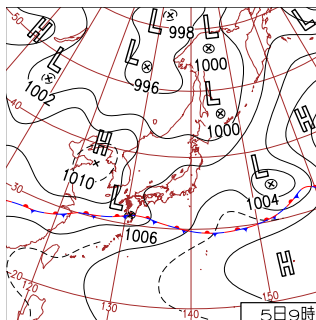
3日(金) 日射しと暖かさが戻る

九州北部～北日本は日中広く晴天。東日本や北日本太平洋側は、最高気温が5月下旬～7月並と前日より10℃前後上昇した所も多く、肌寒さから解放。前線に近い沖縄は雨。



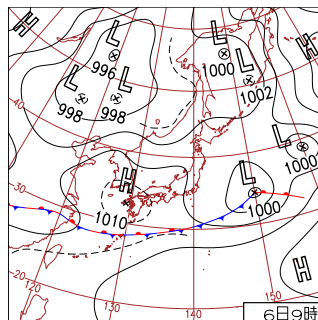
4日(土) さらに気温上昇

高気圧に覆われ晴れた沖縄～東北部で気温上昇し、福島県など27か所で真夏日。北海道は雨で気温上がらず。夜は九州南部に梅雨前線のび出す。福島県いわき市で震度5弱。



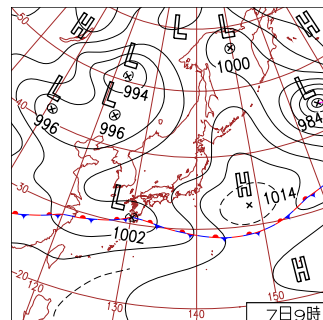
5日(日) 九州北部 梅雨入り

前線活動が活発化し、九州～近畿で雨や雷。寒気が通過した東日本も大気が不安定となり雨や雷。鹿児島県十島村中之島で41.5mm/1hの雨。九州北部で梅雨入り発表。



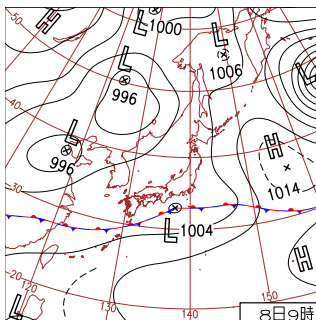
6日(月) 奄美群島で前線活発化

梅雨前線は、奄美群島付近に停滞し、湿った空気が入ったため活発化。雷雨となった鹿児島県十島町中之島で26mm/1hの雨。本州は晴れたが、北海道は上空に寒気が入り雷雨。



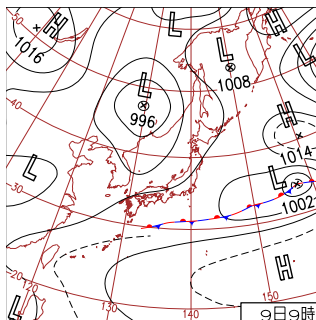
7日(火) 種子島・屋久島で大雨

良く晴れた新潟と東北では真夏日となった所多く、秋田県横手は最高気温32.1℃。前線の影響で鹿児島県種子町上中74.5mm/1h、中種子61.0mm/1hの非常に激しい雨。



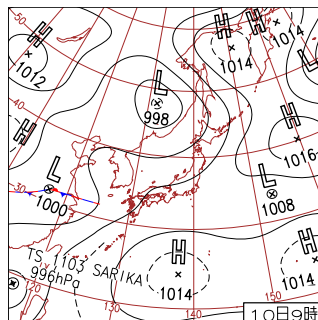
8日(水) 北海道でも真夏日

種子島・屋久島は前線が停滞して雨が続く。西～東日本は太平洋側中心に雲が広がり、日中も所々雨。北陸や北日本は概ね晴れ。北海道は上富良野で30.3℃など、今年初の真夏日。



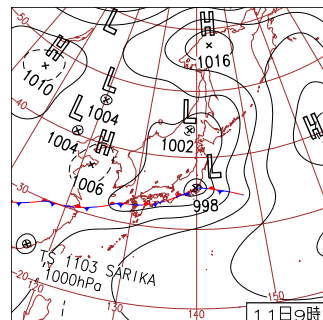
9日(木) 沖縄は早くも梅雨明け

沖縄は統計開始後、最も早い梅雨明け発表。太平洋高気圧に覆われ晴れて県内ほとんどの地点で真夏日に。東～北日本では上空寒気を伴う低気圧の影響で午後を中心に雨や雷雨。



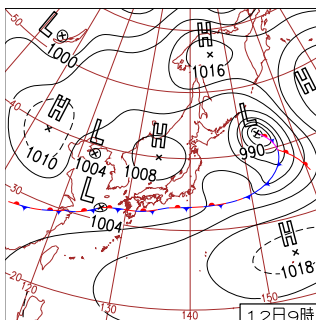
10日(金) 北と南で雨

梅雨前線が活発化した西日本や、気圧の谷が通過した北海道で雨や雷。晴れた東北は日中7月並の気温。鹿児島県日置市東市来で51.5mm/1h、北海道小川町栄町で41.5mm/1h。



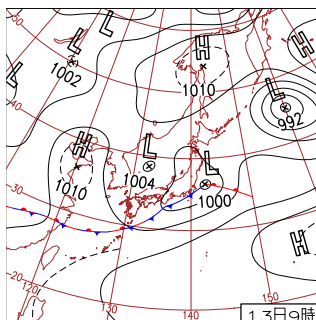
11日(土) 九州や北海道など大雨

九州～東日本は梅雨前線、北海道は寒気の影響で大雨と雷。熊本県山都町原で78.5mm/1hの雨。北海道釧路市阿寒湖畔51mm/1hで年の記録更新。台風第3号は熱帯低気圧へ。



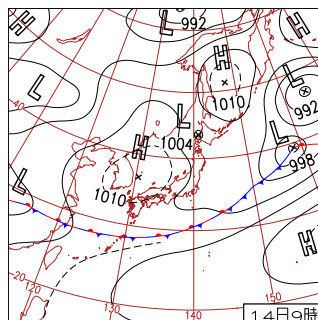
12日(日) 九州、連日の大雨

晴れたのは北日本の一部でその他は曇りや雨。活発な梅雨前線の影響で熊本・長崎県で非常に激しい雨。熊本県熊本空港で63.0mm/1h、長崎市で55.5mm/1h、日降水量は200mm超。



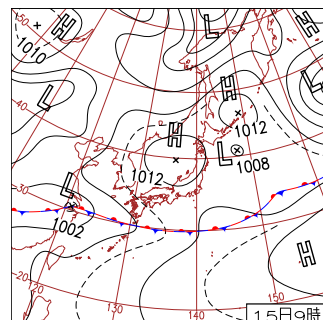
13日(月) 九州・四国 天気回復

低気圧の東進とともに前線が南下し、九州南部や東海～関東のまとまった雨は朝まで。九州～東北は日中晴れ間も出るが、上空に寒気が流入し、午後からにわか雨・雷雨の所も。



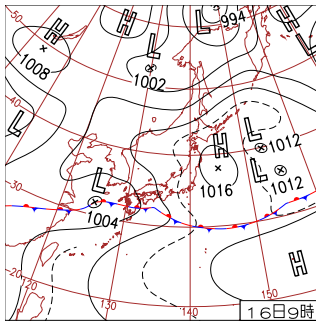
14日(火) 寒気や梅雨前線で大雨

上空寒気の影響で関東～北海道で大雨となり、茨城県では1時間、北海道では日降水量の6月の記録更新。奄美地方でも梅雨前線の影響で大雨。前線南側の沖縄は晴れて各地真夏日。



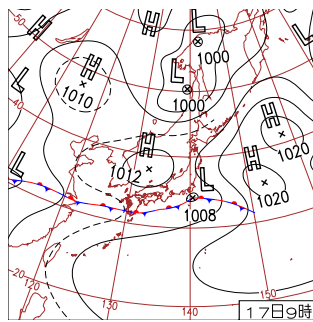
15日(水) 九州南部で激しい雨

梅雨前線が北上して九州と四国で雨。九州南部は雷を伴った激しい雨が続き。沖縄や奄美は晴れて真夏日。鹿児島県阿久根で55.5mm/1hの非常に激しい雨。



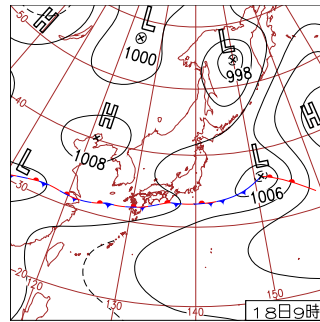
16日(木) 北陸梅雨入り

梅雨前線上の低気圧が九州に接近。低気圧と前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、前線が北上し活動も活発に。九州南部では昨日からの雨が300mmを超える所も。



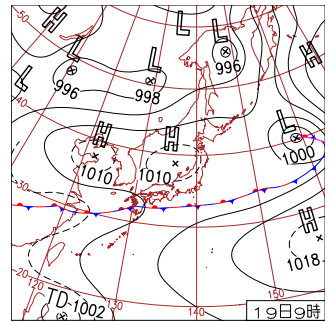
17日(金) 九州の大雨、小惑状態

北海道と本州の日本海側では概ね晴れて各地で夏日。西～東日本では午前中雨のち曇り。南西諸島は晴れて真夏日。関東は北東風で気温上がらず最高気温は4月下旬～5月中旬並。



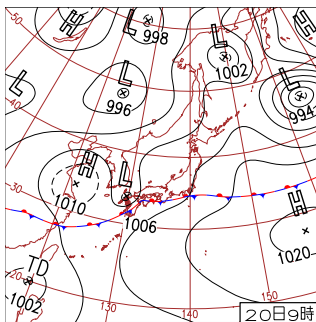
18日(土) 九州は再び大雨

北上した梅雨前線や上空の寒気の影響で、晴れた沖縄を除き全国的に雨。九州は雨脚が再び強まり夜も降り続く。熊本県水俣は58.5mm/1h、日降水量244mmで共に6月の1位更新。



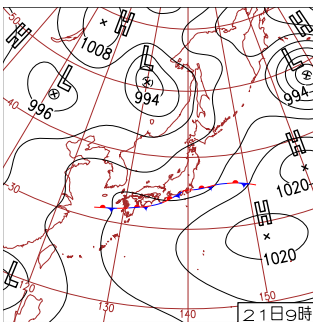
19日(日) 九州で連日の大雨

活発な梅雨前線で九州は50mm/1hを超える非常に激しい雨。鹿児島、宮崎、熊本県では10日以降の累計雨量が900mmを超えた所も。沖縄や北日本では青空広がる。



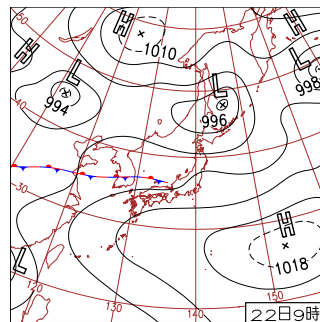
20日(月) 西日本 非常に激しい雨

梅雨前線が北上し、九州～関東の太平洋側を中心に雨や雷。愛媛県宇和島で76.5mm/1h、長崎県雲仙岳で73.5mm/1hなど、九州・四国では各地で非常に激しい雨。



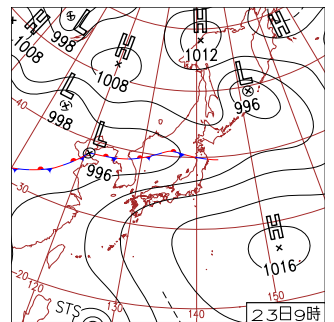
21日(火) 前線南岸で停滞

前線活動はピークを越えたが九州南部・紀伊半島で大雨(熊本県山江で72時間降水量417.5mm)東北は南部・北部ともに梅雨入りを発表。台風第4号発生。



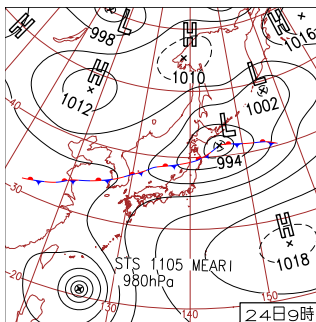
22日(水) 今年初の猛暑日

晴れた東～北日本で真夏並の暑さ。全国401地点で真夏日、関東など13地点で猛暑日。群馬県館林で36.5℃。湿った空気の流入で日本海側は雷雨。奄美梅雨明け発表、台風第5号発生。



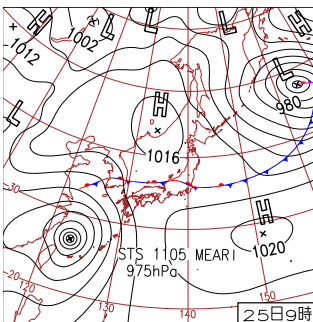
23日(木) 北陸・東北で大雨

活発な梅雨前線が東北にのび、北陸や東北日本海側中心に激しい雨。山形県小国で観測史上1位となる日降水量251.5mm。西日本や関東等で猛暑日。兵庫県豊岡で36.4℃。



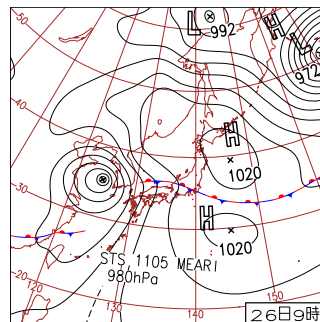
24日(金) 関東で記録的猛暑

埼玉県熊谷で39.8℃など関東の7地点で全国の6月最高気温歴代1位を超える。東北は秋田県矢島で観測史上1位の日降水量183mmなど大雨続く。台風第5号が先島諸島に接近。



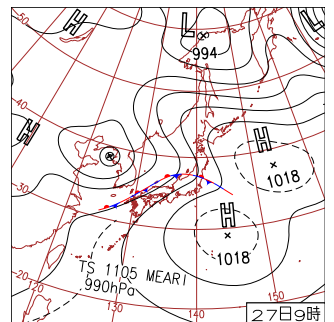
25日(土) 西日本中心に猛暑続く

西日本と東海は真夏日の所が広がり22地点で猛暑日。台風第5号や梅雨前線が影響した沖縄・九州や北陸・関東・東北南部は雨や雷。宮崎県美郷町神門で71mm/1h。



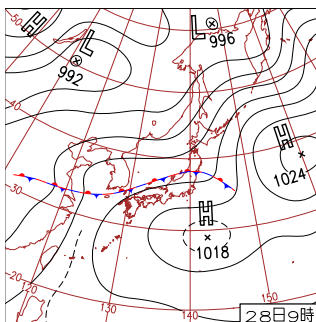
26日(日) 九州非常に激しい雨

九州と四国は台風第5号の影響で、中部と北陸～東北南部は梅雨前線の影響で雨。間に入った近畿は晴れて猛暑。大分県佐伯市宇目は70mm/1hの雨で6月の記録更新。



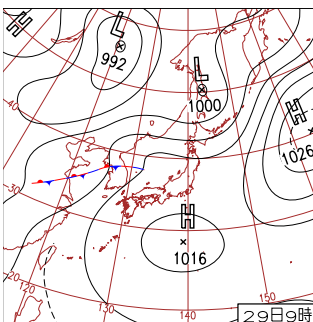
27日(月) 台風第5号温低へ

晴れたのは、西日本太平洋側～東海の一部と北海道北部。その他は曇りや雨で、東北では一日雨。朝の最低気温は近畿と北陸で高く、福井では平年より8.2℃高い27.9℃。



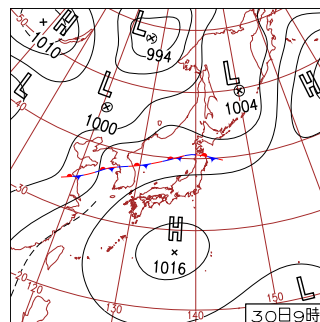
28日(火) 晴れの地域拡大

北陸・北日本は雲が広がりが局地的な雨となるが、前線南側の九州全域や西～東日本太平洋側は晴れ。関東～東北の最高気温は前日から6～10℃上昇。九州南部梅雨明け発表。



29日(水) 全国的に暑い1日

太平洋高気圧に覆われ広い範囲で晴れて気温上昇。全国の観測地点の過半数で真夏日。中国～関東の74地点で猛暑日となる。北陸～東北日本海側は寒気の影響で雨。



30日(木) 暑さで熱雷発生

太平洋高気圧に覆われて広範囲で晴れ、今日も全国の過半数の観測地点で真夏日。気温上昇により大気が不安定となり午後は各地で雨や雷。東北北部は梅雨前線が停滞し雨。